

# 質疑・答弁から

## 平成16年度 一般会計補正予算

会を立ち上げているが、町長自らが姿勢を示すために、委員会に対して諮問してはどうか。

**Q** 平成16年度12月議会で町長の報酬と退職手当について報酬審議会に諮問することを提案しましたが、なぜ、報酬審議会の委員報酬5万7千円を減額補正したのか。

**A** 町長自らという考え方もあるが、改革推進委員会での中身を見ながら私の考え方をどうするかを決めていきたいと思っています。

**A** 1市2町合併協議会の中で、その協議がなされていたので、執行の必要がなかったためです。

**Q** 次世代育成支援行動計画委員会の報酬が15万1千円減となっているが、何回委員会を開いて、冊子を作成したのか。

**Q** 3月定例会で町長は、報酬の見直しは報酬審議会の意見を聞いて削減に取り組み必要があると言われたが、どうされたのか。

**A** 当初は6回を予定していましたが、実際には5回開催して、計画を策定しました。

**A** 17年度に取り組み姿勢を示すため、26の類似団体に対して、特別職の報酬等の調査をしています。

**Q** 計画の中で、休日保育事業、乳幼児の健康支援一時預かり事業、一時保育事業、子育て短期支援事業、特定保育事業を5年をかけてやっていく

となつているが、できるものから随時やっていくということなのか。

**A** 延長保育は、16年度から実施していますが、休日保育事業等は、まだはつきりした事は決まっています。今後アンケート等を取りながら時間をかけて取り組む必要があると思います。

**Q** 防火水槽新設工事が212万1千円減額されているが、その理由と当町の防火水槽の充足率を聞きたい。

**A** 本町は、防火水槽を年間2基新設しています。その入札残ですが、充足率は、55%です。

**Q** 防火水槽の充足率は、他町と比べてかなり低い状況です。それに替わるものとして消火栓を設置してはどうか。

**A** 防火水槽だけでは対応が不十分である事は認識しています。消火栓については、地域の水道管

の状況等も考慮しなければならぬので、河川等の利用を考えています。また、地域の消防団とも話をしていきます。

## 平成17年度 一般会計補正予算

対象地域の方をすべて把握しているのか。

**A** 対象地域の代表者の方と協議をしながら実施したいと考えています。

**Q** 県同和地区生活実態調査委員報酬が9万2千円計上されているが、その調査の内容と委員の数はどうなっているのか。

**A** 対象地域の現状を把握するために、教育、就労、産業等に限定して調査を実施します。調査員は3人を考えています。

**Q** 同和地区の人だけが生活が困窮しているのはありません。町長は、この調査をしてどのような結果が得られると考えているのか。

**A** 従来から対象地域は、教育、就労、産業等に格差があるという思いはしています。

**Q** 調査にあたって町は、

**A** 大変厳しい財政状況ですから歳出を抑制しなければなりません。現在行財政改革推進委員会で協議がなされていますので、その答申を見ながら取り組んでいきます。

**Q** 調査を実施しない町がある中で、当町があくまで実施する理由は何か。

**A** 県が3千世帯を対象として調査をします。地域が限定されますので調査はできると思います。中身については、対象地域の方と協議が必要、と思うと思います。

**Q** 住宅管理費が216万円、工事費が2433万1千円追加されているが、内容を聞きたい。

**A** 現在、町営住宅を4百戸近く管理しており、管理費は、小修繕費として、工事費は瓦のふきかえ等の費用として追加しました。

**Q** 古い町営住宅を、今後どのようにしたいと考えているのか。



建設中の永谷公民館